



期間:3月18日(火)~12月14日(日) 会場:石山寺

# イベントがもりだくさん! ようこそ「源氏物語」の世界へ

「源氏物語」生誕の地といわれている大津市で「源氏物語千年紀 in 湖都大津」が3月18日に開幕しました。そのメイン会場となる石山寺は、紫式部とゆかりが深く、この地で「須磨・明石の巻」の着想を得て「源氏物語」を書き始めたといわれています。多彩なイベントがもりだくさんの石山寺で「源氏物語」の世界に浸ってみませんか?



▲土佐光起「紫式部図」(部分・石山寺所蔵)

## 湖都・大津によみがえる 「源氏物語」の千年浪漫。

21世紀の今も多くのの人々から愛されている紫式部の古典文学「源氏物語」。著名な作家による現代語訳が数多く生まれ、また、原文に親しむ熱心なファンも増えています。この浪漫あふれる物語が誕生してから今年でちょうど1千年を迎え、記念イベントが各地で開催されています。大津市では石山寺を中心に「源氏物語千年紀 in 湖都大津」が開催中。この機会に長く読み継がれてきた「源氏物語」と湖都の魅力にふれてみてはいかがでしょうか?

### マスコットキャラクター 『おおつ光ルくん』誕生!

大津生まれの光ルくんは21世紀版光源氏。一見ホンワカしているけど、実は、歌が詠めてスポーツだって得意な、なんでもこなせる元気な子ども。この「おおつ光ルくん」が「源氏物語千年紀in湖都大津」のマスコットとして、イベントなどいろんなシーンをご案内します。



### □豊浄殿

紫式部展(特別展示) 料金/大人200円※石山寺入山料別途  
春展 3月18日(火)~6月10日(火)  
夏展 6月20日(金)~8月20日(水)  
秋展 9月1日(月)~12月14日(日)※期間中展示替えのため休館あり  
石山寺に所蔵されている源氏物語・紫式部等に関する宝物を展示します。

### □光堂

有馬稲子奉納講演「源氏物語」朗読  
4月20日(日) 定員150名 有料(4,500円・入山料込)  
志じみ寄席 出演/桂九雀  
4月27日(日) 定員150名 有料  
※その他、源氏物語に関するセミナーなど毎月1回開催予定。

### □淳浄館

紫式部「恋歌つづり展」 入館無料  
3月18日(火)~12月14日(日)  
源氏物語に登場する代表的な和歌を源氏絵巻とともにパネル展示します。  
書写「源氏物語」体験 キット代/各1,000円  
3月18日(火)~12月14日(日)  
江戸時代前期の貴顕が五十四帖を一帖ずつ分担書写した、石山寺所蔵「寄合書源氏物語」から石山寺ゆかりの巻「須磨」「関屋」の書写体験ができます。



### 源氏夢回廊

石山寺の東大門から志納所までに位置する塔頭「世尊院」「明王院」「密蔵院」「公風園」を主会場に、平安王朝期の華やかさを再現した“源氏夢回廊”を展開。趣向を凝らしたさまざまな展示が実施されます。明王院では「田辺聖子源氏物語文学館」と題し、現代語訳を手掛けた作家・田辺聖子さん原作で、宝塚歌劇団で上演された際の衣装などを展示。世尊院では、日本刺繍による「源氏物語展」や映画「千年の恋」で紫式部を演じた女優・吉永小百合さんの衣装やインタビュー映像も紹介する「紫式部・千年の恋館」を催します。また、密蔵院は「未来千年館」として、現代アート作家による源氏物語の絵画や彫刻を展示予定。



イラストは「源氏夢回廊」のイメージです

日本刺繍による「源氏物語展」(世尊院)	3月18日(火)~4月14日(月) 5月16日(金)~5月30日(金)
吉岡幸雄衣裳展 「源氏物語の色~千年を超えて」(世尊院)	4月19日(土)~5月11日(日)
紫式部・千年の恋館(世尊院)	6月4日(水)~12月14日(日)
田辺聖子源氏物語文学館(明王院)	3月18日(火)~12月14日(日)
未来千年館(密蔵院)	3月18日(火)~12月14日(日)
オープンカフェ(公風園)	3月18日(火)~12月14日(日)

### 船上から環境保護のメッセージ発信!

源氏物語千年紀 in 湖都大津  
シンポジウム~源氏物語千年の命をつなぐ(仮題)  
7月12日(土) ビアンカ船上にて

この夏、琵琶湖と「源氏物語」を環境問題の観点からアプローチするシンポジウムを遊覧船ビアンカ船上で開催します。「源氏物語」に描かれた植物や動物などを取り上げ、千年前の命がいまも息づいている事実と、それらの命をさらに千年後の未来につないでいくために、いまある自然環境を保持していく必要性をメッセージとして発信。J1生命誌研究館館長・中村桂子氏の基調講演とパネルディスカッションを予定しています。

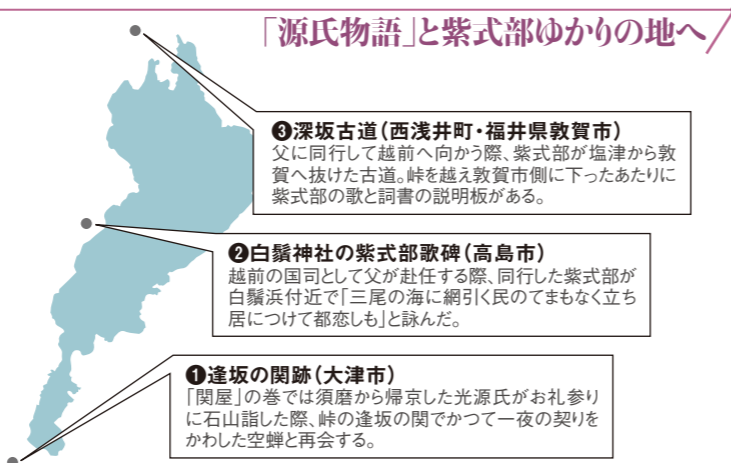
### 源氏物語千年紀 in 湖都大津 「大本山石山寺会場」入場料

■石山寺入山料  
大人500円、中学生500円、小学生250円  
■紫式部展  
大人200円、中学生200円、小学生100円  
■源氏夢回廊  
大人600円、中学生500円、小学生300円  
■セット券(入山料+紫式部展+源氏夢回廊)  
大人1,000円、中学生850円、小学生500円  
●お問い合わせ  
源氏物語千年紀 in 湖都大津実行委員会  
☎077-511-1500  
http://www.otsucci.or.jp/genji/  
社団法人びわ湖大津観光協会  
☎077-528-2772  
社団法人石山観光協会  
☎077-537-1105

### その他の関連イベント

●滋賀県立近代美術館  
□4月29日(火・祝)~6月29日(日)  
「人間国宝 志村ふくみ 源氏物語を織る(仮題)」常設展  
●大津市歴史博物館  
□7月13日(日)~8月24日(日)  
「石山寺と湖南の仏像-近江と南都を結ぶ仏の道-(仮題)」  
●滋賀県立図書館  
□5月1日(木)~25日(日)、6月4日(水)~29日(日)  
7月24日(木)~8月31日(日)、10月1日(水)~26日(日)  
源氏物語や紫式部に関する展示会  
●記念講演会(大津プリンスホテル)  
□9月14日(日)  
テーマ「源氏物語の生まれた淡海」  
講師:瀬戸内寂聴氏

(※)寛弘元年(1004年)、紫式部が大津の石山寺に参籠し、琵琶湖に映る中秋の名月を見て新しい物語の着想を得たといわれています。それは「源氏物語」の須磨・明石の巻に生かされ、その後、五十四帖からなる壮大な長編小説「源氏物語」が完成。寛弘5年(1008年)11月1日の紫式部の日記には「若紫」「源氏」という言葉の記述があり、宮中で「源氏物語」が読まれていたことがうかがえます。これが「源氏物語」を確認する最古の記録とされており、その年から数えて今年で1千年になります。



Special Issue  
源氏物語千年紀特集

源氏物語千年紀 ● Special Interview

# KEIBUN文化講座でおなじみ 福嶋昭治教授の「源氏物語」ふたたび。

KEIBUN文化講座で平成11年秋から17期にわたり「源氏物語を読む」の講師を務め、受講生の皆さんから好評をいただいた園田学園女子大学教授・福嶋昭治さん。「源氏物語千年紀」を記念して今年7月に特別講座を開講します。今回、誌上で「源氏物語」の魅力や「源氏物語千年紀」の楽しみ方などを語っていただきました。



## 千年にわたり読み継がれてきた理由は 現代にも通じる人情の機微と季節感

— KEIBUN文化講座で長きにわたり「源氏物語」の講師を務めていただきました。終えられたご感想はいかがですか。

受講いただいた方は私より人生の先輩が多くいらつやつて、「源氏物語」の世界をより深く受け止めてもらえたのではないかと思います。若い頃に読んで面白けれど、自分がそれなりにいろんな経験を積んで、さまざまな分野の造詣が深くなってきたときに、もっと奥行きが見えてくることとありますよね。すぐれた芸

術作品というのは、受け止める側が深くなければ、相手もより深さを見せてくれる。「源氏物語」にはそういう面があると思います。

— 「源氏物語」が千年たった今も、これだけ多くの人に愛され、読み継がれてきた理由はなんでしょうか。

どこにでもありそうで気づいていない、表には現れにくい心の働きなど、今も決して変わることのない人情の機微がきちんと書き留められているこ

とでしょう。それには私たちも共感できるし、文字表現というかたちを通して物事の本質を教えられる。そういうことによつて、自分のまわりがよりきめ細やかに見えてきて、心が豊かになってくるんじゃないでしょうか。もうひとつは季節感ですね。私たちは季節というものの実感と離れて人間関係つてどうも作れない。私たちの持っている季節感というものは「源氏物語」で確立されていると思う。例えば、源氏から愛され生涯をともにした紫の上は一貫して桜の花に例えられています。人の心を与える明るさや懐かしさ、何とも愛

## 「源氏物語千年紀」はまさに千載一遇！ 湖都大津で「源氏物語」の世界を逍遥

— 大津市では「源氏物語千年紀 in 湖都大津」が開催中です。滋賀で「源氏物語」の世界をもっと深く楽しむためのアドバイスをいただけますか。

物語の中では光源氏や薫が石山詣をしていて、石山寺が「源氏物語」の中で大切な位置づけをされているのは間違いありません。「関屋」の巻では、石山寺に行くために逢坂の関を光源氏は越え、そこで空蟬という人に再会する場面があります。また、紫式部自身が若いとき、国司として越前に赴任する父・藤原為時と同行しているのですが、打出の浜といわれる深いわけですね。そういう源氏ゆかりの場所へお出かけになる際に、物語でどんな風に描かれている場所なんだろうとちよつと興味を持つていただければ、「源氏物語」の文章に親しんでいただくきっかけになるかもしれない。本当は原文など引用した解説が、それぞれの場所を用意されればいいんですけどね。

— ささまざまな作家による現代語訳もたくさん出版され

ていますが、やはり原文がいいのでしょうか。

私はやはり原文で読んでいただきたい。それはオリジナルの表現にしかない迫力があるんです。慣れるまではちよつと大変ですが、慣れば原文のもっている魅力は十分に味わっていただけると思う。ただ、全部読めば80万字、原稿用紙にして2千枚ぐらいの分量ですから、それを通して読むのはなかなかできない。歌舞伎には通じ狂言といつて本当は長い物語があります。〇〇〇〇の段とかその一部だけを鑑賞する楽しみ方がありますよね。「源氏物語」もそんな風に楽しんでほしいんじゃないでしょうか。

か。場面一場面の中に心ひかれる描写がちやんとありますから。

— 7月には「源氏物語千年紀」の特別講座が催されます。抱負をお聞かせください。

定例の講座では8年半かけて五十四帖を読み終えましたが、その時点で受講生の皆さんがもう一度振り返りたいとおっしゃっているのが、今回はダイジェストのようなかたちで全4回(各1時間30分)、定例の講座とはまた違うアプローチの仕方です。源氏を読みたいと思います。もちろんダイジェストといつてもやはり原文というものにもふれて、その魅力はしっかりお話ししたい。「6時間」で読む源氏」ということですね(笑)。

### profile



**福嶋 昭治** (ふくしま・しょうじ)  
1948年生まれ。71年大阪大学文学部国文学科卒業。75年大阪大学大学院文学研究科修士課程国文学専攻修了。大阪府立高等学校国語科教諭を経て、園田学園女子大学へ。現在、同大学人間健康学部教授。専攻は平安時代文学・貴族日記。主な著書は「物語文学の系譜」(世界思想社)「長能集註釈」(塙書房)「日本語の表現と工夫」(双文社)「平安文学選」(和泉書院)「御堂関白記全注釈」(高科書店)など(いずれも共著)。季刊ムック「京都」(扶桑社)に誌上カルチャー講座「源氏物語」を連載中。KBSラジオで「そっこん源氏物語」放送中。

### Information

源氏物語千年紀記念 KEIBUN特別文化講座  
「源氏物語の世界」～「源氏物語」という大きな森の散歩道へ ふたたび～

「源氏物語千年紀」にあたり、全五十四帖の「源氏物語の世界」を概観する全4回完結、6時間で読む特別講座をこの夏開催いたします。源氏物語の世界に初めて触れる方、またその魅力を十分ご承知の方にも、それぞれに楽しんでいただけるよう、物語の流れの大筋を追いながら、源氏物語の魅力の教々を随所に盛り込み、原文を読み解きながら講座を進めます。

開催日：7月1日(火)、8日(火)、22日(火)、29日(火)の4日間  
時間：各回とも13:30～15:00(1時間30分)  
会場：しがぎん草津ビル6階(滋賀銀行草津支店)  
定員：150名(定員になり次第、締め切らせていただきます)  
講師：園田学園女子大学 人間健康学部教授 福嶋昭治先生  
受講料：6,300円  
\*KEIBUN友の会の特典「3,000円引」をご利用いただけます。(同時入会可)

講座内容	日程
桐壺から明石まで	7月1日(火)
深澤から藤裏葉まで	7月8日(火)
若菜上から幻まで	7月22日(火)
匂宮から夢浮橋まで	7月29日(火)

しがぎんホール・スペシャル・コンサート・シリーズ  
日本の音楽を知る  
～和楽器で綴る源氏物語の世界～

日本古来に伝わる和楽器で「源氏物語」の当時の世界を彷彿とさせます。筑前琵琶の語りで聴く「源氏物語」も絶品。気づけば平安の都にいるような気分になれることでしょう。

開催日時：10月24日(金)午後7時開演  
会場：しがぎんホール  
料金：一般3,000円、学生2,000円  
\*シリーズ12公演セット、Aコース6公演セットもあります。KEIBUN友の会「3,000円引」特典もご利用いただけます(6ページ参照)。  
出演：田中旭泉(筑前琵琶)他  
曲目：「夕顔」他



— その一方で、絵巻などにも描かれている燈ひやかな王朝文化など、今からは想像できない世界もありますよね。現代とはもちろんファッションも違うし、食べているものも違う。そういうものへの興味はありますよね。「源氏物語」で描かれた人間観は千年たっても変わらないものだけれど、今にはない千年前の世界のさまざまな出来事にもふれる、それはまた楽しいことでもある。知識として「知る」ことで、物語をより膨らませて読む、そういう楽しさはあると思います。

石山寺の桜。「源氏物語」では紫の上は一貫して桜の花に例えられている。(写真提供/大津市観光振興課)